遠野市監査委員告示第１号
平 成 29 年 2 月 15 日

地方自治法第 199 条第４項の規定に基づく定期監査を実施したので、同条第９項の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員　　佐　藤　サヨ子
遠野市監査委員　　佐々木　資　光
遠野市監査委員　　瀧　本　孝　一

# 平成 28 年度定期監査結果報告書（後期）

## １　監査の目的

定期監査は、地方自治法第 199 条第４項の規定に基づき平成 28 年度における財務に関する事務の執行及び経営に係る事業が、同法第２条第 14 項及び第 15 項の趣旨に則り合理的かつ効率的に行われているかどうかを目的に実施した。

## ２　監査の期日及び対象

平成 29 年 1 月 11 日から１月 27 日までに延べ７日、32 課等を監査した。

| 月　日 | 対　　象　　課　　等 |
|---|---|
| １月11日 | 市民協働課、生涯学習スポーツ課、スポーツツーリズム推進室、遠野地区センター |
| １月13日 | 土淵小学校、附馬牛小学校、青笹小学校、上郷小学校、上郷地区センター |
| １月16日 | 遠野小学校、遠野中学校、学校教育課、教育研究所、中・高連携サポート推進室（教務課）※ |
| １月18日 | 調査研究課、文化課、遠野東中学校、青笹地区センター |
| １月20日 | 政策推進総括担当、ＩＣＴ推進担当、学校給食センター、総合食育課、子育て総合支援課 |
| １月23日 | 綾織地区センター、松崎地区センター |
| １月27日 | 宮守・鱒沢・達曽部地区センター※、小友地区センター、土淵地区センター、附馬牛地区センター |

※教務課は共通事項のみを監査した。
※鱒沢地区センター、達曽部地区センターの設置が平成28年４月１日であり、監査項目の「健康スポーツプログラム推進事業費」については平成27年度実施事業についても監査することから宮守・鱒沢・達曽部の３地区センターを合同で監査した。

## ３　監査の手順

(1)事前に監査対象項目に係る諸帳簿等の提出を求め、その内容について照合確認するとともに関係職員から説明を聴取して実施した。

(2)　法令に違反していないか、規則や要綱等に基づいて処理されているか、金員の使途は交付の趣旨に合致しているか等について監査した。

(3)所管事務の執行状況

32 の事務事業について、財務に関する事務の執行が適正かつ効率的に行われているかを主眼として監査した。

(4)共通事項

ア　各課で該当する分担金及び負担金、使用料及び手数料、諸収入
イ　現金等の保管状況
ウ　郵便切手類の保管及び受払
エ　物品の管理及び出納
オ　車両の運行管理

## ４　監査の結果

各課等で所管する事務事業から抽出した予算執行及び事務事業並びに共通事項を監査した結果は、おおむね適正に手続きが行われていた。事業の内容及び改善を望む事項等については監査対象ごとの「意見・要望」に記載した。

なお、事務処理上の書類の不備及び軽微な事項については、その都度関係職員に対して口頭で改善を指導したので記述を省略する。

# 監　査　結　果

**【所管事務の執行状況及び意見等】**

## １　政策推進総括担当

所管事務は、市の基本構想に関すること、重要施策の総合的な企画、調査、調整及び進行管理に関すること、総合計画の策定及び推進に関すること、経営改革大綱実施計画及び部門別計画の進行管理に関すること、第三セクター等の改革に関すること、再生エネルギーの活用に関すること、秘書に関すること、広報紙の編集及び発行に関すること、基幹統計調査及び一般統計調査に関すること等である。

### ○遠野みらい創造推進費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

第２次遠野市総合計画の将来像である「永遠の日本のふるさと遠野」の実現に向け市議会常任委員会視察への帯同、全国過疎問題シンポジウムへの派遣などを行っており、市の課題を明らかにし、課題解決のため人材育成を図る取り組みが行われていることは評価できる。

なお、遠野市総合計画における「ブランド化の推進」にあたっては、「遠野産○○」のような地域ブランドや製品の特長を際立たせた個別ブランドなど様々方向性があると考えられることから、商工業や農業など関係部署の連携により「ブランドコンセプトの意思統一」と「ブランド管理のあり方」についての検討が必要であると思われる。

## ２　ＩＣＴ推進担当

所管事務は、庁内ネットワーク機器の整備に関すること、地域情報化に関すること、ホームページ等の管理運用に関すること、ケーブルテレビ事業会計予算の編成に関すること、株式会社遠野テレビの指導及び育成に関すること、遠野テレビ放送番組審議会に関すること等である。

### ○観光・防災Wi－Fiステーション整備事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

これまで実施してきた「ねっとゆりかご」「ＩＣＴ健康塾」などの取り組みが評価され、総務省の「地域公共ネットワーク等強じん化事業」の補助金を活用した整備事業である。緊急時に避難施設となる地区センター８施設と防災拠点及び観光施設であ

る観光交流センター・市立博物館などにおいて観光客や市民の情報収集等の利便性を高めるためのＷｉ－Ｆｉ環境整備が行われていた。また、今回の監査項目ではないが、ＩＣＴ利活用により、都市部の仕事を地方でも行うことが出来る環境を構築する「ふるさとテレワーク推進事業」も総務省の補助金を活用し実施していた。

今回の整備を機に更に、産業・交流の振興や市民の安心安全が図られることを望む。

## ３　市民協働課

所管事務は、市民センター及び地区センターの事務、事業の総合調整に関すること、市民憲章運動に関すること、自治組織その他の地域活動の育成及び支援に関すること、市民協働の啓発及び普及に関すること、交通対策及び交通安全対策の総合的な企画、調整及び推進に関すること、消費者の保護及び消費生活相談窓口に関すること、市民センター施設の整備及び管理並びに利用の許可に関すること等である。

### ○交通安全指導対策費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

専任交通指導員（非常勤）を配置し、遠野警察署、遠野市交通安全対策協議会、岩手県遠野市交通安全協会、遠野市交通指導隊、遠野地区交通安全母の会連合会と連携を図り、幼児から高齢者までの交通安全教室の開催、街頭指導及び広報活動が行われている。交通指導員数の現員数は25人と定数35人を大きく下回っていることから、高齢者や小学生、保育園児・幼稚園児等の交通安全教室等が専任交通指導員の活動により、これまで以上にきめ細かく展開されることを大いに期待したい。

なお、専任交通指導員の存在をしっかり市民にアピールするためにも活動日誌または記録簿の整備を検討されたい。

## ４　生涯学習スポーツ課

所管事務は、生涯学習の推進に関すること、男女共同参画社会の推進に関すること、高齢者団体の育成並びに高齢者の教養及び健康づくり活動に関すること、青少年の育成及び指導に関すること、勤労青少年ホームの管理運営に関すること、少年センターの運営に関すること、健康づくりに係る事業の総合調整に関すること、市民の健康づくり総合プログラムの推進に関すること、生涯スポーツ施設に関すること、芸術及び文化団体の育成支援に関すること、文化財の指定等に関すること等である。

### ○青少年健全育成活動事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

専任少年委員（非常勤）を配置し、少年委員84名が町ごとに班を編成し、遠野警察署、生徒指導推進協議会等と連携を図り街頭補導活動、七夕祭り特別補導活動等を行っている。平成27年度及び平成28年９月末現在で補導実績は無いとのことだが、一方で、スマホなどＳＮＳサイト上での「いじめ」防止対策に新たな課題があるとのこと。

専任少年委員が育児休暇中の現在、生涯学習スポーツ課職員が事務を行っていたが、青少年健全育成活動における専任少年委員の役割は大きいと考えられることから、市長部局と教育委員会との連携を深め社会情勢の変化に対応した活動の在り方についても検討を行って欲しい。

**○生涯学習のまちづくり推進費**

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

当該事業の平成27年度各地区センターの監査において、講師に対する報酬・旅費の支払基準の不統一や支払遅延に関して指摘したことから、措置状況について確認した。

今年度当初の地区センターとの会議で、報酬支払基準及び事業実績報告書の統一が図られており事務の改善は行われていたと認められる。

事業実施にあたっては実績報告書のフォーマット統一に終わることなく、引き続き地区センター間の情報共有が図られるよう進められたい。

**５　スポーツツーリズム推進室**

所管事務は、第71回国民体育大会少年男子サッカー競技の開催準備の総合的な企画及び調整等に関すること、国体施設等を活用したスポーツ大会の誘致及び開催に関すること、スポーツによる観光、交流人口の拡大等地域の活性化に関すること等である。

**○岩手国体運営事業費**

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成28年10月の希望郷いわて国体少年男子サッカー競技の予算執行全体について監査した結果、競技会場設営・撤去業務委託仕様書記載の書類に未整備があったことから口頭指導した。また、補助金を支出している実行委員会会計については清算終了後に佐藤代表監査委員が実行委員会監事として、会計監査を行うこととした。

大会が成功裡に終わったことについて、担当職員等の努力を評価するとともに、競技会場運営ノウハウを活かして、新たな観光・交流人口の拡大に引き続き努力されることを願う。

**６　中・高連携サポート推進室、教務課**

所管事務は、中高連携サポートに関すること、教務課の所管事務は教育委員会の会議に関すること、教育行政の長期かつ総合的な計画の策定に関すること、児童及び生徒の就学に関すること、就学困難な児童及び生徒の就学援助に関すること、児童及び生徒の交通安全対策に関すること、市立学校の設置、管理及び廃止に関すること、総合的な教育環境の整備に関すること、児童及び生徒の通学対策に関すること、教材整備に関すること、奨学生選考委員会及び奨学資金貸与に関すること等である。

**○高校魅力化サポート事業費**

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

この事業は、県立高等学校再編成の動きに対して、遠野高校及び遠野緑峰高校の魅力を市内外等の中学生、保護者に対し両校の魅力を広くＰＲするため、ホームページの開設、文化祭のチラシ作成、学力向上に向けた研修、空手部創部や馬事研究会充実などの取り組みなどを行っていた。また両校の更なる魅力アップのため文部科学省のＳＧＨ（スーパーグローバルハイスクール）等への申請など、２校存続に向けた様々な取り組みが行われており、厳しい現状の中で一生懸命かつ迅速に対応していると認められる。また、県外からの生徒募集には解消が必要な制約もあるとのことから、今後更に、中・高連携を基本に、「子育てするなら遠野」構想、「六次産業化」推進構想も踏まえて遠野で暮らす３年間の高校生活がいかに充実したものであるかを県内外に情報発信できる体制づくり・環境づくりなども関係団体、住民の更なる協力を得て進めて欲しい。

**７　学校教育課、教育研究所**

学校教育課の所管事務は、市立学校の組織編成及び管理運営に関すること、市立学校職員の任免、分限、懲戒及び服務に関すること、市立学校の学級編成に関すること、就学指導・相談に関すること、特別支援教育に関すること、学校評価に関すること、学校の教育課程及び学習指導その他の学校教育に関する専門的事項の指導に関すること、市立学校職員の研修に関すること、特色ある学校づくり事業に関すること等である。

教育研究所の所管事務は、教育に関する専門的事項及び技術的事項の調査及び研究に関すること、教育実態の調査に関すること、児童生徒の教育相談に関すること、教育関係資料の収集及び紹介に関すること、教育関係職員の専門研修に関すること等である。

**○特定教科集中対策事業費、学力向上対策事業費**

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

特定教科集中対策事業として、中学生の数学学力向上を目指して、きめ細かい授業を展開するため、中学校３校に各１名の学習支援員を配置していた。

学力向上対策事業については遠野市教育研究所（１名）中学校に教育相談員（３名）を配置したほか、標準学力検査（ＮＲＴ）及び知能検査の実施、中学校区内の小学校と中学校が連携して研究体制を構築し、研究部会の開催など、授業力向上に継続的に取り組んだ成果として、授業の目標（ねらい）の明確化や家庭学習時間の伸びなどが児童生徒のアンケート結果に表れているとのこと。今後更に、小中高連携を進め、学力向上の成果が表れることを期待したい。

## ９　文化課

所管事務は、文化遺産の保護及び振興並びに普及に関すること、文化に係る施策の企画及び連絡調整に関すること、遠野遺産認定条例に規定する遠野遺産に関すること、郷土芸能の振興に関すること、図書館及び博物館に関すること等である。

### ○遠野遺産認定事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成19年度に「遠野遺産認定条例」を制定し事業がスタートしてから、本年度で149件が認定されている。自分のまわりにある有形・無形の文化を改めて貴重な「たからもの」と認識し、それを地域で守り育て次世代へ受け継いでいくことが出来る事業として評価できる。今後は、アンケート結果による遺産認定後の課題などへの対応や、関係課の連携によって、遠野遺産に関する観光振興及び健康づくり（ウォーキング）など、今の時代を反映させた価値を生み出す新たなステージ展開を期待したい。

## 10　調査研究課（市史編さん室）

所管事務は、遠野の文化に係る総合的な施策の推進に関すること、遠野文化研究センター運営委員会に関すること、遠野の文化に係る市民団体に関すること、遠野文化賞に関すること、その他遠野の文化の調査研究に関すること、市史編さんに関すること等である。

### ○「語り部」1,000人プロジェクト事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

遠野の文化は昔話をはじめとした様々な分野の「語り」により伝承されてきた。本事業は「昔話」「歴史」「郷土芸能」「食」「生業」の５ジャンルにおいて、1,000人の「語り部」を発掘・認定しようとするものであり、これまで826人が認定されている。各種の研修や、中心市街地の空き店舗２か所を利活用しての活動がなされており、遠野の魅力をそれぞれのジャンルで紹介出来る事業の効果は大きいと認められる。1,000人プロジェクトをきっかけとして、より多くの市民が豊かな文化の伝承について一層の関心を持ち、日常生活における観光客との触れ合いの中でも情報発信できる体制づくり・環境づくりに期待したい。

## 11　子育て総合支援課

所管事務は、少子化対策及び子育て支援の総合的な施策の推進に関すること、私立幼稚園の振興に関すること、遠野市わらすっこ支援委員会に関すること、保育所における保育に関すること、地域子ども・子育て支援事業に関すること、認可外保育施設に関すること、療育支援教室の運営に関すること、児童館及び児童遊園の整備及び管理に関すること、児童クラブ・母親クラブの運営及び指導に関すること、ひとり親家庭及び寡婦の福祉向上に関すること、児童福祉施設への措置等に関すること、家庭児童相談及び女性相談に関すること等である。

### ○地域子育て応援推進事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

本年度の新規事業として「わらすっこファミリーサポート事業」が立ち上がり、地域において子どもの預かりを行う「まかせて会員」の講習会を修了した、41名が会員登録した。応援を希望する「おねがい会員」は23名が登録しており、「まかせて会員」と「おねがい会員」の事前顔合わせ（マッチング）後、10月からの２ヵ月間で６件の利用があったとのこと。本事業は開始から間もないことから、利用者数はまだ少ないが、他課との連携で事業のＰＲを行い、安心して子育て出来る「子育てするなら遠野」に相応しいインパクトある取り組みにして欲しい。

## 12　総合食育推進課、学校給食センター

所管事務は、食育推進計画に関すること、食育の普及事業に関すること、食育団体に関すること、給食センターの施設及び設備の管理に関すること、給食計画の運営に関すること、給食の栄養献立・栄養指導及び衛生指導に関すること、給食の配送及び回収に関すること、給食費の収納及び未納対策に関すること、地産地消給食に関すること等である。

### ○ぱすぽる推進事業費

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

遠野市食育推進計画の「食を通して健全な心と体、生きる力を育む」の基本理念に基づき、ちびっこ栄養教室、中学生食生活応援教室、ぱすぽる食育まつり、100年後に伝えたい食育レシピ作成などの事業を展開しており、事務は適正に執行されていると認められる。

今後「ぱすぽる」が遠野スタイルの食育の愛称としてもっと市民に定着するよう周知するとともに、各地区センター事業との連携を密にし、減塩など健康に配慮した食生活が定着するような取り組みの強化を期待する。

**○学校給食事業費**

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

学校給食調理・配送業務委託の契約更新にあたっては、昨年度の監査要望事項である衛生管理記録簿の確認や災害時の対応などが仕様書に明記され、調理事務の確実性が図られていた。更に滞納給食費の徴収についても担当職員の努力が認められる。なお、給食の異物混入防止対策に細かな対応をすることで、混入件数は減少していた。今後は、調理工程だけでなく、配送後の各校での配膳における注意事項の統一や確認などについても学校との連携を密に図られたい。

## 13　地区センター（地区公民館）

所管事務は、市民憲章の普及推進に関すること、市政懇談会に関すること、自治組織その他の地域活動の育成に関すること、教養・芸術・文化活動に関すること、体育・スポーツ・レクリエーション活動に関すること、社会教育団体・地域団体の連絡協調に関すること等である。

**○健康スポーツプログラム推進事業費**

〔指摘事項〕

特になし

〔意見・要望〕

平成25年度の監査において健康スポーツプログラム推進事業（とすぽ）とＩＣＴ健康づくり事業の連携による健康づくり事業の再構築について意見等を記したところである。

健康度を改善し、健康寿命の延伸につなげるための「健幸ポイント制度」への取り組みは、全国の260を超える自治体で行われているとのこと。その大きな目的の一つが「医療費の抑制効果」だが「ＩＣＴ健康塾」は、その先駆けと言える制度だと思われる。

今回の監査では、青笹地区センターの「ＩＣＴ健康塾と健康スポーツプログラム事業の有機的な連動」や上郷地区センターの「町内10行政区を巡回する健康出前講座」及び鱒沢地区センターの「企業との連携による健康づくり」など、これまでよりも更に一層健康への関心度を高めるための工夫がなされていた。このような事例を参考として、今後の事業展開が各地区センターで積極的になされることは、市民の健康づくりに大いに貢献できると考えられる。

さらに、児童生徒や親世代を対象にした各教室も各地区センターで開催されているが、これらの教室は近隣の地区センターで共同して参加者募集を行うことや好評な事業は地区センター持ち回りで複数年継続する取り組みなどについても検討を願う。

各地区センターの「健康スポーツプログラム推進事業」についての監査結果は、次のとおりである。

| 地区センター | 監　　査　　意　　見　　等 |
| --- | --- |
| 遠　　野 | 誰でも・気軽に・楽しいエアロビ教室を平成27年度に４回開催、平成28年度も４回開催予定である。<br>事業の特徴としては教室開催にあわせて市栄養士監修の健康づくりレシピを配布していたほか、総合型地域スポーツクラブ「とおのスポーツクラブ」のエアロビ教室とタイアップした企画、チラシを作成していた。<br>また、教室開催を松崎地区センターは日中、遠野地区センターは夜間とし、出来るだけ多くの方が参加できるよう工夫はしているが、更に参加者の拡大を図られる企画を期待したい。<br>なお、スポーツ振興（toto）助成金が終了するとのことから、「とおのスポーツクラブ」のマネジャー配置が課題であるとのこと。 |
| 綾　　織 | とすぽ綾織サテライト校事業として、介護予防教室を開催しているが参加者数は少なかった。<br>しかし、平成24年から５カ年のスポーツ振興（toto）助成金を活用し、綾織スポーツクラブが介護予防教室を14回開催していたほか、ヨガ教室５回、キッズ運動教室28回、タグラグビー教室など多様な事業を実施していた。<br>スポーツ振興くじは平成28年度で終了するとのことから、これまで行ってきた多彩な事業を地区センター事業として継続し、多くの方が健康づくりに取り組める企画づくりが望まれる。またタグラグビー教室、バスケットボール教室などは一流のプレイヤーと触れ合うことが出来ることから市全体の事業としての継続も検討されたい。 |
| 小　　友 | 平成28年度はキッズスイミング教室（平成25年度から継続開催）２回（19名参加）、スラックライン教室１回（11名参加）、ヨガ教室２回（23名参加）で事業は完了していた。<br>各教室は園児、成人、高齢者それぞれを対象として開催されていたが、参加者を拡大するために、ヨガ教室と食育や健康に関する講話や、スラックライン教室などは鱒沢及び綾織地区センターと連携した取り組みも検討されたい。また、参加料の一部で飲み物を購入し提供しているとのことであったが、200円程度の参加者負担を求めることは適切と考えられることから次年度以降は改善されたい。 |
| 附 馬 牛 | 平成27年度は「健康づくり教室」として有酸素運動を10回（96名参加）、平成28年度は同じ内容で８回（107名参加）実施しており追加開催を検討しているとのこと。<br>参加人数も多く、参加者の年齢、参加日など細かくデータも整理されており評価できる。<br>今後は教室の開催と併せて食育や健康に関する講話などを組み合わせ、参加者の拡大や健康づくりへの関心が更に高まるような取り組みを期待する。 |

| | |
|---|---|
| 松　　崎 | 平成27年度は「のびのび筋力アップ事業」４回、「いきいき体操教室」４回、「ゆったり和みヨガ教室」２回開催し、参加人数も多かった。平成28年度は「のびのび筋力アップ事業」を実施しており、他の教室は、これから開催予定とのこと。<br>各教室を集中的に開催することで参加人数も多く、健康づくりに大きく貢献していると認められる。<br>今後は教室の開催と併せて食育や健康に関する講話などを組み合わせ、参加者の拡大や健康づくりへの関心が更に高まるような取り組みを期待する。 |
| 土　　淵 | 平成27年度は「ヨガ・セラバンド教室」を昼・夜各３回（37名参加）、平成28年度は「腰痛予防体操」を５回（39名参加）実施して事業は完了していた。また「小烏瀬キッズ・スポーツスクール」を２月６日に開催予定である。平成27度の「ヨガ・セラバンド教室」の受講者アンケートを実施し、その結果を参考にして本年度の教室開催を企画し、アンケートも継続していた。<br>毎日午後３時から遠野テレビの音声告知放送でラジオ体操も継続しており、地域での健康づくり活動に積極的に取り組んでいると認められる。 |
| 青　　笹 | 平成27年度の健康スポーツプログラム事業「青笹もりもり健康教室」のストレッチ、セラバンドによる軽体操の企画を発展させ、平成28年度はその事業をＩＣＴ健康塾開催日に合わせ、脳卒中に関する講話と軽体操に取り組み、最終日は減塩食調理と試食会を行う計画である。発端は青笹町の保健推進委員協議会からの提案であったとのことだが、保健医療課、保健推進委員、食改善推進委員等との共催で内容の充実が伺え、チラシも住民の興味を引き付ける内容であった。<br>ＩＣＴ健康塾と健康スポーツプログラム事業が有機的に連動した素晴らしい取り組み事例として、他の地区センター事業の模範になると思われ、評価できる。 |
| 上　　郷 | 平成27年度の健康スポーツプログラム事業として保健師等が町内10行政区を巡回する「健康出前講座」が行われ、115名の参加者があった。平成28年度はそれを本年度から始まった、「一括交付金」の対象事業として継続し、健康スポーツプログラム事業は体幹トレーニングを５回開催する計画である<br>また、地域の老人クラブが積極的に参加できるよう「シルバー室内ペタンク教室」を開催していた。<br>保健師と地域活動専門員による「健康出前講座」は住民ニーズをとらえた事業であり、また一括交付金を活用した各種事業の取り組みからは新しい地区センターのあり方が伺え、評価したい。 |

| | |
|---|---|
| 宮　　守<br>鱒　　沢<br>達 曽 部 | 平成27年度は「みやもり荘」の職員を中心に「企業連携チャレンジエクササイズ」を３回開催し、45名が参加していた。<br>平成28年度から鱒沢、達曽部地区センターが設置され、宮守は児童を対象にしたコーディネーショントレーニング、鱒沢は「高舘の園」の職員を中心に「企業連携健康体操」、達曽部は２月に「からだづくり講座」として腰痛予防等のトレーニングを行う予定である。<br>３地区センターが、それぞれの企画で事業に取り組んでいたが、特にも福祉施設等の職員を対象にした「企業連携健康講座」はＩＣＴ健康塾への加入促進が図られる可能性があること、及び企業福利厚生事業の一環として、本講座が継続されるような取り組みも期待したい。 |

## 14　小中学校（遠野小学校、土淵小学校、附馬牛小学校、青笹小学校、上郷小学校、遠野中学校、遠野東中学校）

・備品購入について

物品購入に関わる事務処理は、概ね適正に執行されていた。

備品は各学校で物品選定、見積り徴収を行い購入しているが、小学校３校で購入したミシンの１台あたりの購入価格に約２万円の差があった。製品性能の違いはあると思われるが、各学校の備品購入について情報共有を図ることで、より効果的な購入事務が行われるものと考える。

なお、遠野東中学校の図書購入においては、予算配当26万円にたいして、未執行が16万円であった。出来るだけ早期に図書を購入し活用機会を広げるために、学校内での図書購入目的の明確化と意思統一が必要である。

・薬品管理について

昨年度の監査で要望した薬品管理台帳整備は教務課の指導により、各学校とも整備されており、保管場所の施錠等も行われていた。引き続き適正な管理に努められたい。

### ○その他＿小中学校の運営等について

・全般

各学校とも「学びフェスト」を作り、学校の状況に応じて、複式学級への対応、不登校生徒への対応など職員間の連携を密にして学校運営に取り組んでいることが伺えた。また、平成25年４月１日の中学校再編成から３年が経過したが児童生徒の生活習慣に関する取り組みとして、中学校区単位で、小・中学校の連携による家庭学習強化週間やゲーム終了時間を決める取り組みなどが行われていた。

・いじめ防止対策について

各学校とも、児童生徒及び保護者へのアンケートの実施、個別面談、職員間の意識共有、また小学校においては児童館との連携など重大事案となる前に解決を図っている状況が伺え評価できる。

・スクールバスの運行について

昨年度の監査で要望した緊急マニュアルを教務課で作成し、各学校へ配布されており、また緊急連絡網も整備されていた。スクールバス配置校では乗降車におけるマナーなどについて丁寧に指導を行っており、また小学校においては児童館との連携も行われていると認められる。

・校内の整理整頓について

学校生活を送るうえでの基本である整理整頓は概ね良くなされており、児童・生徒が気持ち良く授業を受けられる状況であると認められる。

**【共通事項】**

**1　各課で該当する使用料・手数料**

特に問題点は見受けられなかった。

市民協働課の市民会館使用料収入未済額（過年度分）114,650 円は、40,000 円の回収があった。市民協働課、子育て総合支援課、学校給食センターでは対応経過記録表を整備し、未収金回収に取り組んでいた。今後も徴収について引き続き努力を望む。

**2　現金の保管状況（通帳）**

特に問題点は見受けられなかった。

今回監査対象の32課等のうち22課等が遠野市に属するもの及び団体等のものを含めて通帳を管理していた。平成28年11月30日現在の保管状況は96冊（前年度監査以降の解約１冊、移管６冊）である。

通帳増減の内訳は、生涯学習スポーツ課において「遠野市少年野球レベルアップ事業実行委員会」の通帳１冊解約、「遠野市スポーツ少年団本部」の通帳１冊は体育協会へ移管。

小友地区センターは「小友町探訪会」の通帳１冊を探訪会へ移管。

また平成 28 年度から鱒沢・達曽部地区センターが設置され、それぞれの地区センターで通帳管理をすることになったため、宮守地区センターから鱒沢地区センターへ「鱒沢地域づくり連絡協議会」「鱒沢地域教育協議会」の２冊を移管、さらに（前期監査対象）地域振興課から「柏木平リバーサイドまつり実行委員会事務局」の通帳１冊が移管されていた。また宮守地区センターから達曽部地区センターへ「達曽部地域教育協議会」の１冊が移管されていた。

詳細は下記のとおりであるが、預金通帳を多く保管している課等は、小友・松崎地区センターで11冊、預金通帳残高が多い課等は、スポーツツーリズム推進室で29,596,587円であり、「希望郷いわて国体遠野市実行委員会」の清算が未了であることが理由である。なお、通帳残高の合計金額は48,381,377円であった。

今後も引き続き、市の公金同様、定期的にチェックするなど厳正に取扱い、不正防止に万全を期すことを期待する。

| No. | 課　　等　　名 | 通帳冊数 | | 預金残高(円) |
|---|---|---|---|---|
| | | 現存数 | 増減 | |
| 1 | 政策推進総括担当 | 2 | － | 221,862 |
| 2 | ＩＣＴ推進担当 | 1 | － | 0 |
| 3 | 市民協働課 | 9 | － | 3,697,604 |
| 4 | 生涯学習スポーツ課 | 5 | △２ | 1,223,919 |
| 5 | スポーツツーリズム推進室 | 1 | - | 29,596,587 |
| 6 | 教務課 | 1 | - | 0 |
| 7 | 学校教育課 | 2 | － | 368,944 |
| 8 | 文化課 | 1 | - | 0 |
| 9 | 調査研究課 | 1 | - | 0 |
| 10 | 子育て総合支援課 | 1 | - | 0 |
| 11 | 学校給食センター | 1 | - | 0 |
| 12 | 遠野地区センター | 7 | - | 1,734,918 |
| 13 | 綾織地区センター | 7 | － | 1,208,261 |
| 14 | 小友地区センター | 11 | △１ | 1,265,040 |
| 15 | 附馬牛地区センター | 7 | － | 837,024 |
| 16 | 松崎地区センター | 11 | - | 2,286,756 |
| 17 | 土淵地区センター | 8 | - | 959,465 |
| 18 | 青笹地区センター | 6 | - | 3,070,105 |
| 19 | 上郷地区センター | 3 | - | 1,141,819 |
| 20 | 宮守地区センター | 7 | △３ | 635,576 |
| 21 | 鱒沢地区センター | 3 | 3 | 133,497 |
| 22 | 達曽部地区センター | 1 | 1 | 0 |
| 合　　計 | | 96 | △２ | 48,381,377 |

## ３　郵便切手類の保管及び受払

特に問題点は見受けられなかった。

## ４　物品の管理及び出納

物品の管理及び出納については、備品管理一覧表に基づき平成27年度並びに平成28年４月から11月末までに備品購入のあった９課の内、５課７品を選択して購入手続き書類・支出伝票書類を確認した結果、適正に事務執行が行われていたが、備品の重複登録があったことから課内のチェック体制を徹底されたい。

## ５　車両の運行管理

特に問題点は見受けられなかった。